

2017年(平成29年)9月30日(土) NO 114号

# K-PURO NEWS

## 【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	<a href="http://www.k-puro.co.jp">http://www.k-puro.co.jp</a>
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

## 【業務内容】



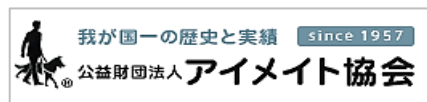
機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

## 【加盟団体】



RID2770	川口モーニングロータリークラブ	<a href="http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/">http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/</a>
NPO 法人	さいたま起業家協議会	<a href="http://www.saitama-kk.org/">http://www.saitama-kk.org/</a>
公益社団法人	千葉東法人会	<a href="http://www.chibahojin.jp/">http://www.chibahojin.jp/</a>
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	<a href="http://www.rinri-chiba.org/">http://www.rinri-chiba.org/</a>
公益財団法人	モラロジー研究所	<a href="http://www.moralogy.jp/">http://www.moralogy.jp/</a>

## 【応援団体・企業】



## 今月の言葉



誰かのひと言や、温かい笑顔、ちょっとした行いによって、心温まる思いがした。そんな経験はないでしょうか。

毎日の生活の中には、小さな喜びの種がたくさんあります。

人から何かをしてもらって「うれしい」「ありがたい」と感じたなら、今度は自分が他の人との関りの中で、その思いを生かしていかいかでいけるでしょうか。

私たちは自分自身の心を開くことで、喜びを大きく育てることができるのです。

ほんの少しの勇気を出して「今の自分にできること」から取り組んでいきたいものです。

## 今月の良い話 「いまの日本の風潮をつくっているもの」

残念ながら、日本という国がいま、心情の上で着実に毀損(きそん)、衰微(すいび)しつつあることを私は痛感しています。

例えば、いじめ統計数字は毎年一年遅れで発表されていますが、いくら数字を分析したところで、いじめは減るところか増える一方であり、しかも陰湿化し続けています。いじめに限らず、他社への配慮、特に弱い立場の人への思いやりに欠ける行為が増え続けていることは、統計の数値には現れませんが、いまの世相を見れば明らかです。

私は先般体調を崩して以来、自分で運転することを控え、タクシーやバスを利用することが多くなりました。タクシーの運転手さんと話をしているのは、些細なことに過剰とも言える文句をつけてくる悪質な乗客が増え、過大なストレスを抱えておられる方が多いということです。目的地に着く直前に料金が加算されたことに激昂する乗客もあり、どうにも収まりがつかないため、やむなく運転手さんが自分で費用を負担することさえあるとのこと。

私も先日バスに乗っていた時、乗車してきた老人が、時間どおりに来なかったと言ってステッキを振り上げ、ものすごい剣幕で運転手さんを怒鳴りつけるを目の当たりにしました。



運転手さんに限りません。いまは飲食店でも、老人ホームでも、利用者のあまりにも無法な振る舞いに耐えられなくなり、貴重な社員が次々と辞めていってしまうといえます。些細なことにも不満を抱き、文句を言って人を困らせ、相手をとことん叩いて自分の憂さを晴らそうとする。そういうわがままで、意思の抑制を失った人がいま

の日本では増え続けているのです。自由・権利という言葉だけが増幅する一方です。

一つひとつの出来事は、社会全体から見れば刑法に触れるようなことではなく、小さな取るに足らないことのように見えるかもしれませんが、当事者にとっては大変な問題です。そうした小さな問題が積み重なっていまの社会全体が行き詰った風潮になっているのです。これは実に恐ろしいことであり、このままいくと日本の将来はどうなってしまうのかと思うと、私は暗澹(あんたん)たる思いに苛(さいな)まれます。

こうした悪しき風潮を改め、日本人が明るく、生き生きと生きていくには、各界のリーダーが弱者に対する配慮を欠かず、自分の持ち場でしっかりと責任を果たし、人々の期待に応えていく以外にないと私は思います。リーダーが立派な姿勢を示していくことによって、人々の心もよい方向に導かれていくと思うのです。日本人が本来の美質を取り戻し、そして一人ひとりの誠実な働きかけが十分に生かされる社会になることを、私は願って止みません。

(毀損:物を壊す、壊れること。 衰微:衰えて勢いが弱まること。)

////////////////////////////////////  
日本を美しくする会 相談役 鍵山 秀三郎 月刊致知 2017年10月号

## 今月の良い話

## 「自分の心次第」

私は長いこと、亡くなる方の心に寄り添ってきました。  
枕元でお祈りをし、「いま、何かしたいことがありますか」とお尋ねすると、心にしこりの残る人は、「あの人もう一度仲直りをしたい」とおっしゃいます。  
魂の深いところでは誰もが皆と繋がっていたいと願っているからです。

ある教え子の家庭の話ですが、遺産相続を巡って奥さんとそのお姉さんが喧嘩をし、三十年間、お互いに顔を合わせることなく憎み続けていました。  
ある時、奥さんは病に倒れ、余命数日という状態になりました。  
見舞った私に細い声で「姉さんともう一度、仲直りがしたい」と言います。

しかし、家族は「この場に及んで嫌な思いはさせたくない」と大反対でした。  
聞くと、お姉さんは一時間以内のところに住んでいるといいます。  
「これは合わせてあげなくてははいけない」  
と思った私は「すぐに呼んで下さい。私が傍についていますから大丈夫です」  
と家族を説得して、お姉さんに来ていただくように連絡を取ってもらいました。

そこで驚くことが起きました。  
病室に来たお姉さんは妹の名前を呼んだかと思うと、飛びつくようにベッドに駆け寄り、奥さんもそれまでの重篤な状態が嘘のように体を起こして、思いつきり抱き合ったのです。



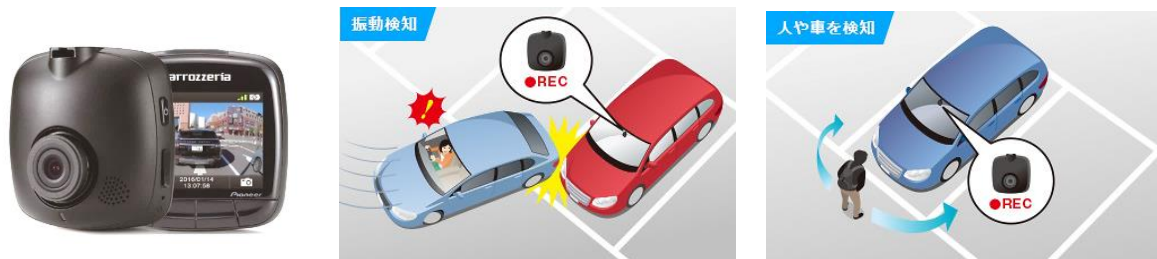
「ごめんなさい、私が悪かった」  
「こちらこそ、ごめんなさい」。  
そう言いながら滂沱(ぼうだ)涙を流し、積年の恨みを消し去っていったのです。  
奥さんは間もなくして亡くなりましたが、いまでも忘れることのできない光景です。

生前、このような「仲直し時間」を持つことは、幸せな人生を送る上でとても大切です。  
中には遠くにいて会えなかったり、既に亡くなっていて時間を共有できない場合もあるでしょう。  
そういう時でも、相手をイメージしながら心からのお詫びと感謝の気持ちを送ることで、恨みや憎しみを消すことができます。

不思議なもので、人間の発する波動は必ず相手に伝わります。  
恨みや妬みの波動は同じようなものを引き寄せて、暗い現象を引き起こしてしましますが、愛の気持ち、感謝の気持ちを発し続けていると心が落ち着いてきて、やがて目の前に展開される景色が美しく変わってきます。  
物事を悪い方向に向かわせるのも、よい方向に向かわせるのも、すべては自分の心次第なのです。

**事件ファイル NO114 駐車監視機能付きドライブレコーダー**

最近のドライブレコーダーは、200万画素 HD(フルハイビジョン)の高画質にして価格も驚くほど安くなっています。駐車中も振動検知や動態検知を行い、自動録画を行いますので、盗難防止およびストーカー対策にお勧めです。写真はパイオニア製 ND-DVR10 で 16,000 円前後。



**プロ太の小話集 NO114 『天国での罰』**



「天国へようこそ！」天国にやってきた三人の女達を歓迎して、天国での生活について聖ペテロはこう説明した。

「ここに来る者は、真面目で信心深く、そして地上でひどく苦しんだ善男善女ばかりじゃ。生きている時に苦労した分、是非楽しくやってもらいたい。美食や美酒を楽しむもよし。男と楽しむも一向にかまわん。ただし、アヒルだけは踏んではならぬぞ」

ウキウキと天国の門をくぐった女達だったが、すぐに天国がアヒルだらけであることに気づいた。アヒルを踏まずに歩くことは実際容易なことではない。一番目の女がアヒルを踏んでしまった。その途端、聖ペテロが現れ、一番目の女をとんでもないブ男と鎖で繋いでしまった。「アヒルを踏んではならんと言ったはずじゃ・・・。これは罰じゃ」

残りの二人の女は、細心の注意を払って歩くようにしていたが、一週間後。二番目の女が足下に潜り込もうとしたアヒルを避けようとして別のアヒルを踏んでしまったのである。現れた聖ペテロは、今度は惨めで口のひどく臭い男を連れていた。男はオマケに歳も取っていた。ブ男達と繋がれて毎日泣き暮らす二人の女を目の当たりにした三番目の女。その轍だけは断じて踏むまいと、一歩進んで前後左右をよく確認し、慎重の上にも慎重に足を運ぶようにし、こうして無事数ヶ月の時が流れたのである。

そんなある日、突然現れた聖ペテロは彼女を引さらい、気がつく彼女は信じられないほどの美男子と鎖で繋がれていた。

聖ペテロは美男子に向かってこう言った。「アヒルを踏んではならんと言ったはずじゃ・・・。」



今月の K-PURO ニュースいかがでしたか？  
最近つまらないとお叱りを受ける小話ですが、今月はなかなかだと思いたいがいかがでしたか？

注:プロ太とは、写真のK-PURO番犬です (体長 10メートル・体重 1トン・無敵無敗)